

令和6年第9回教育委員会議事録

開催日時 令和6年9月27日(金)
午前9時30分～午前10時45分

場 所 八潮メセナ 集会室

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 高 橋 洋 一
委 員 橋 本 珠 美

事務局出席者 教 育 部 理 事 猪 原 誠 一
教 育 部 副 部 長 小 林 勝 巳
教育部参事兼文化財保護課長
高 山 治
教育部副部長兼学務課長 山 内 修
教 育 総 務 課 長 松 本 啓 介
新設小学校準備室長 柳 町 貴 栄
新設小学校準備室主幹 古 川 剛
社 会 教 育 課 長 倉 林 昌 也
小中一貫教育指導課長 和 田 進
教育総務課庶務課主事 篠 崎 美 咲

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和6年第8回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第46号

[説明者 山内教育部副部長兼学務課長]

令和7年度当初八潮市立小・中学校教職員人事異動方針について

令和7年度当初教職員人事異動を推進するに当たり、別紙のとおり令和7年度当初八潮市立小・中学校教職員人事異動方針を定めたいので、議決を求める。

令和6年9月27日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 令和7年度当初教職員人事異動について、八潮市教育委員会
で基本方針を定めるため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○橋本委員

細部事項の「2 転任・転補関係」について、「(9) 新採用の教員及び事務職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、採用後6年以内に異動を行う。その際、原則として市町村間の異動を行う。」との記載がありますが、学校の中で、元々いた先生方と新しく入った先生方の人数のバランスには配慮しながら、異動の検討を行うのでしょうか。

●猪原教育部理事

初任者がいない学校もありますし、今年度については、多いところで5人いる

学校もありました。

この記載の意図は、初任者が5年か6年で異動するまでに、初任者研修以外に様々な経験を積めるように、学校全体として手厚く指導していくということです。

○高橋委員

役職定年後の教職員については、およそ何年くらい学校にいてもらえるのでしょうか。また、現在、何人くらいいるのでしょうか。教員のなり手が少ない中で、そういった先生方が増えることで、将来のためになると思います。

●猪原教育部理事

役職定年は校長、教頭という役職の方で、基本は60歳となっています。それ以降は、現状は65歳まで働くことができ、校長先生は主幹教諭又は教諭、教頭先生は教諭になります。

役職定年後に働いている方は増えていて、現在、思いつく限りでも、6名ぐらいの方が何かしらの仕事をしています。

65歳までの間に途中でやめてしまう方もいます。本市としては、そのような経験がある方に頑張ってもらいながらも、あくまで、本人の意向を最優先にして働いてもらっているところです。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●猪原教育部理事

(1) 令和6年第3回八潮市議会定例会一般質問について

教育部については7人の議員から8つの質問事項をいただきました。

川井議員からは「八幡小学校のプールの授業について」との質問事項をいただきました。今年度から試験的に実施している民間スイミング・スクールを利用した水泳の授業についての質問でした。

これに対し、ここまでの授業の様子や、成果、課題について答弁しました。

朝田議員からは「『こどもひなんじょ』の再整備について」との質問事項をいただきました。各学校は「こどもひなんじょ」の状況をどのくらい把握しているのかという趣旨の質問でした。

これに対し、各学校で把握しきれていない部分もあったので、今後、把握していく旨を答弁しました。

また、議員からは、子どもの安全は学校だけではなく、市や地域等も連携して、守ってもらいたい旨の要望がありました。

小倉議員からは「子どもたちのためにより良い教育環境を目指して」との質問事項をいただきました。質問要旨は、①学童の出欠確認を学校教職員がしていることについて、②学校給食費の現金集金の見直しについて、③小規模特認校の今後についてという内容でした。全体的に、教職員の仕事内容や働き方改革についての質問でした。

これに対し、それぞれの事項の現在の状況について答弁しました。

金子議員からは「学びの多様化を推進する体制づくりについて」との質問事項をいただきました。質問要旨は、①不登校の児童生徒に対するICTを活用した支援について、②夏休み期間におけるタブレットPCの持ち帰りについて、③IT人材の活用や民間事業者と連携した取組みについてという内容でした。

これに対し、それぞれの事項の現在の状況について答弁しました。

特に、端末の持ち帰りについては、各学校の状況に応じて行っていること、また、不登校の対応については、タブレットを活用して対応している学校もある一方、子どもがそれを望まない場合もあるので、各学校で判断してもらっていることを答弁しました。

鈴木議員からは「学校給食の無償化について」との質問事項をいただきました。

これに対し、これまで本市の実績と、今後、国の動向等を注視しながら対応していきたい旨を答弁しました。

内田議員からは「不登校支援について」との質問事項をいただきました。不登校の現状と今後の取組みについての質問でした。

これに対し、現在の状況について答弁しました。

また、議員からは、誰1人取り残さない不登校対応を今後もしっかり進めてもらいたい旨の要望をいただき、教育委員会としては、引き続き対応していく旨を答弁しました。

同じく内田議員から、「小規模特認校制度について」との質問事項をいただきました。制度開始からの入学者数、現状の課題、今後の取組みについての質問でした。

これに対し、それぞれの事項の現在の状況について答弁しました。

また、議員からは、小規模特認校制度を成功させていくには、もっと周知の方法を考えた方がいいのではないかという意見や、人を増やしていくには、スクールバス等の交通手段がないと難しいのではないかという意見をいただきました。

大泉議員からは、「本市公立小中学校でいじめが起きた際の対応について」との質問事項をいただきました。今回発生したいじめ重大事態への対応についての質問でした。

これに対し、本市の対応の内容や、対応にあたって注意したことについて答弁しました。

(2) 市内小中学校の様子について

大瀬小学校の6年生でコロナウイルスの感染が発生して、9月3日から5日まで学年閉鎖を実施しました。

学校が始まってしばらくは、他校でもポツポツと体調不良者は出ていましたが、今は安定しています。

中学校については、八條中学校で秋の修学旅行を実施し、9月16日から18日まで京都、奈良に行ってきました。生徒数は34人です。校長先生からは、事故や事件はなく、行程通りに実施できたとの報告がありました。

また、学校総合体育大会の上位大会が複数開催されました。その中で、八潮中学校の生徒が女子走り高跳びで全国大会に出場し、10位という結果でした。こ

の生徒は、関東大会で上位に入りました。さらに、八潮中学校の男子4×100メートルリレーでも関東大会に出場しました。

●小林教育部副部長

(1) 令和6年8月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について
教育委員会は3件で、それぞれ担当課長から説明します。

●松本教育総務課長

八幡中学校敷地内の剣道場の冷風機、スポットクーラー等の不具合への対応についての投書がありました。確認したところ、冷風機2台、スポットクーラー1台が設置されており、スイッチ部分のシールの剥がれといった軽微な劣化はありましたが、3台とも本体の故障は認められませんでした。ただし、壁の電源コンセントに不具合がある箇所があり、そこを使うと機器が作動しないということで、早急に修繕を行いました。現在は、3台とも正常に作動することを確認しましたので、その旨をメールにて回答しました。

●倉林社会教育課長

投書内容は、八幡図書館を明らかにホームレスと思われる高齢の男性が日常的に利用しており、悪臭を発生しているため、職員から指導をしてほしいというものでした。先月も同様の投書が2件ありましたが、別の方からの投書でした。

回答を求めているものではありませんでしたので、文書での回答はしていませんが、投書者から直接図書館の職員にクレームがあったため、前回同様に、臭いのみをもって退館命令や指導することは難しい旨をお伝えしました。

なお、当該男性が新聞をトイレに持ち込むなど、図書館の使用に問題があったため、不当要求防止対策員に協力をお願いし、指導を行ったところ、暴言を吐いて退館したとのことでした。今後も必要に応じて指導していきたいと考えています。

●和田小中一貫教育指導課長

投書内容は、柳之宮小学校のウサギの飼育状況について、猛暑の中での心配の声と、いくつか質問をいただきました。

この質問を受け、すぐに指導主事が学校を訪問し、管理者と一緒に飼育環境の確認をしました。回答としては、ウサギの体調不良時には、市内の獣医の診察を受けるとともに、飼育環境の助言をいただいていること、日頃の世話については、当番制で小屋の掃除や餌やりなどを行い、教職員がそれをしっかり見届けていること、長期休業中等は、当番制で毎日欠かさず飼育を行うとともに、酷暑時は、水まき、ペットボトルの氷の設置、小屋に影を作る等の対応をしていること、台風等の荒天時には、小屋に雨を防ぐカバーを設置する等、適切に対応していることを説明しました。

また、今後については、生き物との触れ合いや当番活動を通して責任感を養うといったことが貴重な機会となっていることから、教育委員会と学校で連携しながら、適切な飼育を継続していくことを回答しました。

●松本教育総務課長

(1) 八潮市教育相談所再整備基本計画について

教育相談所の再整備については、本年7月23日の第7回教育委員会定例会において、本計画の案をお示しし、内容についてご説明したところですが、その後、9月2日の公共施設整備等調査特別委員会、9月3日の庁議を経て、正式に基本計画として決定しましたので改めてご提示するものです。

内容については、細かい表記の訂正、文言の訂正等を除き、前回お示しした内容からの大きな変更はありません。

今後は本計画に基づき、令和9年10月の開所を目標として、基本設計及び実施設計、建設工事等を順次進めていくこととなります。

教育相談所の整備については、教育委員会においても適宜ご報告しますので、今後ともご協力をお願いします。

(2) 八潮市GIGAスクール通信（第46号）について

今回のGIGAスクール通信では、FigJamの使い方について取り上げています。

このFigJamは、これまでGoogleより提供されていたJamboardというオンラインサービスに代わって提供されるもので、Jamboardの提供は9月30日をもって終了することになっています。

Jamboardでは、児童生徒が互いに画面上で付せんを貼るなどして、リアルタイムでアイデアを出し合い、整理することのできる仮想ホワイトボードの機能が提供されていましたが、FigJamはこの後継サービスとなります。

なお、今回のサービス終了に際し、Googleから講師を招き、先生方へのFigJamの操作研修等も実施しており、事前に先生方へのフォローと情報提供は実施してきましたが、今般、実際にサービスが終了することに際し、改めて基本的な使い方のご案内を行っています。

今回に関しては後継サービスが提供され、先生方にも継続使用していただくこととなりましたが、教育に関するものに限らず、一般的なオンラインサービスについては、提供者の都合や考え方により、随時仕様の変更などの可能性があるため、そのことも踏まえて、学校においてオンラインサービスを使用していくことが必要であると認識しています。

●柳町新設小学校準備室長

(1) 新設小学校開校までの準備スケジュール(案)について

資料をご覧ください。

「1 趣旨」です。令和6年9月の議会において、新設小学校の工事請負契約の議決を受けたことから、工事スケジュールに一定の目途がついたため、校名等、開校までに必要な検討項目について、今後のスケジュールの案をお示しするものです。

「2 開校までに必要な主な検討項目」です。校名をはじめ、14項目を検討していく必要があると考えています。各項目の検討内容や検討方法などを示していますが、今後、変更する可能性もありますので、随時ご報告します。

「3 検討体制及び調整機関」です。開校までに必要な検討項目については、令和5年7月に八潮市学校教育審議会に諮問しています。明確にこの項目を、

ということではなく、全体の検討をしていただくこととしています。この審議会では、これまで5回会議を開催して検討が進められていますが、今後の答申に向けて、校名については候補の案を選定していただき、それ以外の検討項目については、別組織を設置し、検討を進めていく予定です。

(1) 校名について、これまでの検討経緯としては、令和5年の11月から12月にかけて、案を募集しました。559人から202点の応募があり、審議会において4つの候補を選出したという状況です。

この後、新設小学校に関連する小中学校の児童生徒に対してアンケートを実施します。その結果を踏まえて、改めて審議会で検討し、校名候補を決定する予定です。

(2) その他の開校準備に係る方向性については、校名以外の検討項目について、(仮称)新設小学校開校準備委員会を設置し、検討していきたいと考えています。構成員は、関係学校長、校長会代表、教育委員会職員で、10名程度と考えています。任期は、令和7年度から開校までの期間と考えています。検討項目は、主なものとして、校章、校歌、体操着、シンボルツリー、学校経営案等を考えています。

(3) 調整機関については、一般の方への意見聴取が必要な検討項目について、学校の関係団体に意見を求めていきたいと考えています。関係団体としては、学区の一部が新設小学校の区域に変更となる大瀬小学校、大曾根小学校の学校運営協議会を予定しています。学校運営協議会は、地域の方や保護者の方で構成されており、会議を年に数回開催しています。その会議の際に説明に伺い、意見聴取したいと考えています。

(4) 全体スケジュールの概要については、工事の契約は済んでおり、現地の草刈り等も済んでいます。この後、10月から11月ぐらいに現場に人が入っていき、令和9年2月の竣工、4月の開校を目指して工事を進めていく予定です。

検討項目については、校名を最初に決定しなければならないので、令和6年度に候補の案を決定する予定です。それ以外の項目については、基本的に令和7年度から8年度にかけて検討を進めていく予定です。

●倉林社会教育課長

(1) 令和7年八潮市成人式開催要領について

八潮市では、例年、新成人の手で作らあげる成人式を開催しており、今回もその母体となる実行委員会を組織し、成人式の企画や運営について検討していたところではあります。

今年度は令和7年1月13日、月曜日の成人の日に「令和7年八潮市成人式」を開催します。開催にあたり、9月1日に第1回実行委員会を実施し、開催要領のとおり、第1部を八潮中学校・大原中学校校区に、第2部を八條中学校・八幡中学校・潮止中学校校区に分けて開催するとともに、昨年に引き続き、中学時代の恩師の先生からのビデオレターを流すこととなりました。

なお、本内容につきましては、広報やしお10月号にも掲載し、その周知を図ってまいります。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

(1) 体験講座「藍染めハンカチづくり～伝統技術と歴史を学ぼう～」の実施結果について

文化財保護課資料1をご覧ください。

8月24日に開催した体験講座「藍染めハンカチづくり」では、本市の伝統産業である藍染めを取り上げました。

江戸時代後半から始まるとされる藍染め浴衣生地の生産は、その後、本市の主力産業として栄え、先人たちの生活とも深く関わりのあるものでした。

講座では、八潮の染色業の歴史を紹介するとともに、藍甕を使ったハンカチの浸し染めを行い、伝統的な染色技法を学びました。

当日の参加者は児童・一般成人を含め17人で、染色体験を通して、伝統技術の奥深さや地域の特性について知っていただくことができたのではないかと考えています。

(2) 第97回歴史講座「我孫子の史跡めぐり」の実施結果について

文化財保護課資料2をご覧ください。

9月12日に開催した歴史講座では、大曾根八幡神社の彫刻を手掛けた後藤藤太郎の作品が残る神社仏閣、志賀直哉や嘉納治五郎などの文化人たちの邸宅や別荘跡、手賀沼干拓事業の中心を担った旧井上家住宅などを見学し、我孫子市の文化財活用事例を見学しました。

参加者は22人で、講座終了後のアンケートからは、地域に遺された文化財をあらためて見つめ直し、保護活用していくことの大切さを感じ取っていただけたものと考えています。

●山内教育部副部長兼学務課長

(1) 学校給食について

資料をご覧ください。小学校の4月から7月までの「収納額・未納額・収納率」の一覧です。右下の収納率は全体で99.75%です。中学校分については、9月から収納していきますので、次回以降にお知らせします。

次に資料はありませんが、第2回八潮市学校給食審議会が10月11日に開催されます。会議結果は定例会でご報告する予定です。

また、学校給食の衛生検査を10月31日に外部委託で実施します。今回は給食センター、潮止小学校、大原中学校、潮止中学校で実施します。

●和田小中一貫教育指導課長

(1) 令和6年8月・9月 事件・事故報告について

8月から9月にかけての報告件数は、全部で9件でした。内訳は、暴力行為が4件、いじめの疑いが1件、部活動の中の負傷が1件、虐待の疑いが2件、万引きが1件でした。なお、怪我を伴う事案については、いずれも軽傷で、すぐに学校生活に復帰しているとの連絡を学校から受けているところです。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果について

資料をご覧ください。

今年度実施した全国の学力調査の結果です。小学校6年生と中学校3年生を対象にしており、小学校は国語と算数について、中学生は国語と数学について実施しました。

結果は、小学校については国語、算数ともに全国平均を上回りました。また、小学校全体では、全国平均を1.5ポイント上回りました。

また、中学校については、国語は全国平均からマイナス3.1ポイントで、差が開いてしまいましたが、数学はマイナス0.5ポイントで、差を縮めています。

(3) 埼玉県学力・学習状況調査の結果について

資料をご覧ください。

小学校については、県の平均正答率を2年連続で上回っています。中学校については、県平均を下回っていますが、例えば5年ごとの平均で計測すると、着実に平均に迫っているところです。

今後も引き続き学力の向上を目指し、授業改善、魅力ある授業作りに取り組んでいきます。

(4) 八潮こども夢大学について

今年度の実施にあたり、お手元に開校式の案内を置かせていただきました。10月8日に実施されますので、ご都合がございましたら、ご出席いただければと存じます。なお、昨年度の参加人数は13人でしたが、今年度は現在のところ、17人の予定となっています。

(5) 中学生英語弁論大会結果について

教育委員会の主催ではありませんが、8月30日に八潮メセナのホールにて、市の中学生の英語弁論大会が開催されました。

結果は、1位が八條中学校の1年生、2位が潮止中学校の2年生、3位が大原中学校の3年生でした。

なお、2位の生徒については、先日、上位大会の埼玉地区の大会に出場し、1位となりましたので、この後予定されている県大会に出場します。結果がわかりましたらご報告します。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○加藤教育長職務代理者

「我孫子の史跡めぐり」について、参加された方が22人で、バスで移動したとのことですが、募集人数は何人だったのでしょうか。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

25人です。

○木下委員

八潮市全体で街路樹や道端の草がものすごく生えていて、学校の周りでも同様の状況があります。草が生い茂っている環境というのは学校としてはよくないと思います。以前のように、夏休み中等に、PTAと一緒に敷地内の草刈り等の環境整備を行っている学校はあるのでしょうか。

●和田小中一貫教育指導課長

過敏な子どもがいる等の理由で、以前のように全校で草取り等を行うことが難しい状況になっています。

おそらく、PTAを中心とした除草作業を行っている学校もあると思いますが、正確に把握はしていません。一方、最近では職員や業務主事の方が草刈り機で草を刈っている学校もあります。

児童生徒数が多い学校では、校庭で子どもたちが走り回ることで、草が生えにくい状況もあります。一方、児童生徒数が少ない学校では、踏み固められる機会が少ないため、草が多く除草が捗らない状況もあります。

敷地内で、安全上の理由等でしっかりと草を刈る必要がある箇所については、各学校で工夫して対応しているところ です。

○木下委員

校長先生から、学校の敷地を綺麗にする取組みの働きかけがあったら、敷地を利用している団体や地域の方の中で、参加してみようという方もいると思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

●松本教育総務課長

学校の敷地内の除草については、説明があったとおり、業務主事の方にやっていただいている例が多いものと把握しています。ただ、そのような任意での草刈りで対応できない場合や、害虫等が出てくる場合は、教育総務課においても、業者の手配等含めて、適宜、学校からの相談に対応しています。

○高橋委員

八潮市GIGAスクール通信について、新しいソフトを利用するための設定は、タブレットを持っている子どもたちが自分で行うのでしょうか。

●松本教育総務課長

現在、先生方に周知している段階ですが、児童生徒側の操作画面も変わりますので、細かい設定方法は、先生方から実際の授業で使う場面で説明していただくこととなります。

○高橋委員

低学年の児童は操作が難しいと思いますので、対応をよろしくお願いします。

●松本教育総務課長

Google のサービスの性質上、小学校よりも中学校の学習に使われるケースが多いようですが、低学年でも使われることはありますので、しっかりフォローしていきたいと考えています。

○橋本委員

市民の声ボックスの八幡中学校の剣道場の件については、現地へ行ってコンセントの不具合がわかったため、対応されたとのことですが、このような事例が発生したことを踏まえて、市内の他の学校の状況を把握するための対応は考えているのでしょうか。

●松本教育総務課長

学校によって冷風機の数や種類は異なります。八幡中学校は武道場が大きく、冷風機の台数も多いことから、施設の利用頻度が高いこともあって、今回のような投書があったものと推測されます。

定期的な点検としては、毎年9月から10月ごろに教育総務課の職員が全校訪問を実施しており、施設の修繕や問題等の相談事を聞いて回っています。その際に、今回のような事例についても意見聴取して、不具合がないように対応していきたいと考えています。

○木下委員

市内の小中学校で一斉に避難訓練を行ったと聞いたのですが、どのような内容だったのか教えてください。

●和田小中一貫教育指導課長

今年度、初めて市内一斉の合同引き渡し訓練を実施しました。

各学校での引き渡し訓練等は適宜行っているところですが、校長先生方から、例えば兄弟が小中学校に跨っている場合に、保護者がどのようなルートで子どもを引き取っていくのか不安があるという声があったことを受け、昨年度、校長会と連携しながら教育委員会で計画を立てました。

兄弟が小中学校に跨っている場合については、中学生が教員の引率で小学校に移動し、引き取り者は1ヶ所で兄弟全員を引き取るという形の訓練を実施しました。

移動の仕方や、中学生が小学校へ行ったときの並ばせ方、受付の仕方等、実際にやってみてわかったことも多くあり、振り返りを各学校にやっていただき、教育委員会でまとめています。これをもとに、現在、校長会や教頭会とやりとりしながら、来年度の計画案を練り直しているところです。来年度に向けて、充実した訓練となるように進めていきたいと考えています。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。